公認ファシリテーター養成講座の受講をご検討の皆さまへ

※5 月の養成講座は、リニューアル準備中のため、お申し込みを停止させて頂いております。
当日のプログラムがバージョンアップし、資料記載のものから変更となりますので、
受講を希望される方は公式 HP（お問い合わせ）からご相談ください。

この度は「SDGs アウトサイドイン・カードゲーム」 の公認ファシリテーター養成講座の受講をご検討いただき、ありがとうございます。

このご案内は、皆さまが実際に「SDGs アウトサイドイン・カードゲーム」の公認ファシリテーターとして活動に参加するかどうか、ご判断いただくための資料として作成いたしました。長文ですが、大切なお知らせになりますので、お付き合いください。

目次

1. **「SDGs アウトサイドイン・カードゲーム」と開発背景**
2. **充実の「２コース」詳細をご紹介！**
3. **価格および価格体系の背景**
4. **最後に**

1 | 「SDGs アウトサイドイン・カードゲーム」と開発背景

「SDGs アウトサイドイン・カードゲーム」は、株式会社オークジャパンと、株式会社プロジェクトデザインが共同で企画・開発、監修は株式会社オルタナに依頼し、世界が直面する社会課題をビジネスの力で解決することを学ぶカードゲームとして完成しました。

＜本ゲームを制作するに至った経緯＞

本ゲームは 2011 年 3 月に発生した東日本大震災がきっかけとなって生まれました。仙台に本拠を置くオークジャパンにとって、見渡す限り一面の荒廃から、それぞれの描いた未来へむけて少しずつ息を吹き返していく過程は忘れられないものとなりました。

宮城県の仙台空港隣に北釜という集落がありました。海岸に面したエリアです。そこに高さ 12 メートル（痕跡高）の津波が押し寄せましたが、海岸林のなかでも深く根をはった松林が押し倒されるまでの時間が 30 秒ほどかかったために助かった、鈴木英二さんという方がいらっしゃいます。

鈴木さんは、その後 10 年間海岸林再生に関わり、その経過をワシントンの世界銀行「年次総会」や「リオ＋２０」でも講演し、2015 年 3 月、仙台において開催された第 3 回国連防災世界会議招聘に寄与しました。同年 9 月、ニューヨークの国連本部で、SDG s（持続可能な開発目標）が採択されましたが、169 のターゲットの中に世界で唯一「仙台」の地名が

© OAK JAPAN and SDGs Business Institute　2022

刻まれました。

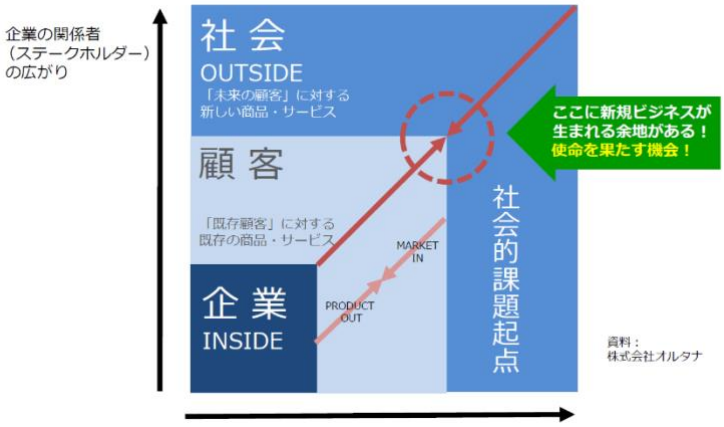
<アウトサイドイン ～社会を捉える新たな視点～>

社会が抱える課題を見つけ、事業を通じて解決する取り組みは、東日本大震災の被災地に限らず、日本国内、また世界各地至るところで生まれています。

「アウトサイド・イン（Outside-in）とは、SDGs 導入における企業の行動指針「SDG Compass」（2016 年 3 月に作成）に記載されている公式のビジネス用語で、Compass は羅針盤を意味します。

少し詳しく解説しますと、アウトとは「社会」を、インは企業や組織を意味します。これまでのビジネスアプローチでは、企業が自社の製品・サービスの強みを生かしてマーケットを開拓する「プロダクト・アウト（Product-Out)」や、市場のニーズに合わせて製品・サービスを開発する「マーケットイン（Market-In)」が主流でした。

「アウトサイドイン」は、この「マーケットイン」のベクトルを伸ばすことで、顧客のすぐ後ろにいる「社会のニーズ」に応えようというものです。つまり「社会課題の解決を起点にしたビジネス創出」を意味します。実は「SDG Compass」に記述された「アウトサイドイン」は、気候変動などの分野で、企業が科学に基づく目標設定を指していましたが、その後、「社会課題の解決を起点にしたビジネス創出」の意義が注目されるようになりました。



本カードゲームは、その指針を大切に、誰もが普遍的に実行でき、再現可能なサイエンスにすることを目指して生まれました。そして、このカードゲームを使って「SDG s アウトサイドイン」を企業内外に広めようとする希望者に「公認ファシリテーター」として認定証をお渡しすることに致しました。

本カードゲームでは次のような学びを提供する場を設けることが可能です。

・事業創造にあたって SDGs の考え方を活用することで生まれる機会
・社会課題と個人の意思を起点として新規事業を構想する方法
・組織内外のリソースを活用し、スピーディーに事業を実現する方法

© OAK JAPAN and SDGs Business Institute　2022

・個人や組織がしらずしらずの間に身に付けている事業創造に対するメンタルモデル

<皆さまとともに進化し続けるビジネスゲーム>

(2)

1 年間の開発期間と、数多くのテストプレイを経て完成した SDGs アウトサイドイン・カードゲームは、前半のカードゲームだけでなく、その振り返りも重要視しており、**「カードゲーム＋振り返り」**で、**《SDGs アウトサイドイン・ビジネスゲーム》**と称しています。

カードゲーム ＋ 高度化したゴールと振り返 ＝ ビジネスゲー

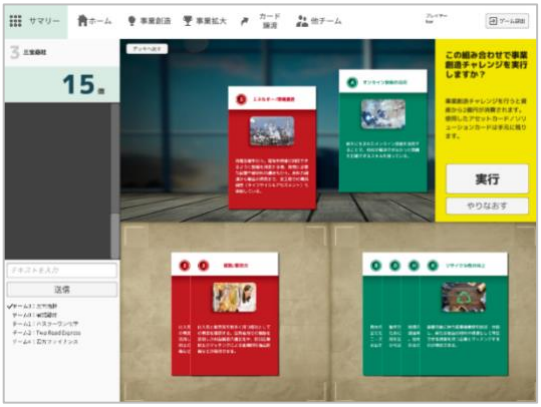
リリース後まもなく 3 年を迎えるいあたり、特に振り返りの手法をアップデート、ゲームのゴール設定自体すらも洗練、高度化しました。これにより、ゲーム体験による学びも多様化し、様々な目的に対応したゲームの開催が可能となりました。それに伴い本部ではこの 9 月からゲーム開催の呼称を**「体験会」から「体験ワークショップ」**としております。リアル版でもオンライン版であっても、ゲームの効果を遺憾なく発揮し、ファシリテーターの皆さまが参加者に深い学びの場が提供できる環境を整備し続けています。

今後も公認ファシリテーターの皆さまと協力しながら、さらに気づきの示唆や、熱狂を生み、各地での体験が活かされるようブラッシュアップし続けていく所存です。

2 | 充実の「2 コース」詳細をご紹介！

SDGs アウトサイドイン公認ファシリテーター養成講座は、公認ファシリテーターとして、SDG s を確実に企業内に導入・浸透するための実践力を修得していただこうと「2 日コース」を用意しています。SDGs アウトサイドイン・アプローチ手法を活用して、SDG s 導入・浸透に取り組もうとされる方のニーズに応じた、使いやすいプログラムです。

- **2 コースは、どちらも「公認ファシリテーター」として認定され、「SDGs アウトサイドイン・カードキット」及びオンライン版を使うことができます。**
- **以前、１日コースを受講された方は、２日コースの再受講も可能です。また、すでに２日コースを受講された方も、２日間の新しい学びを希望して再受講される方は、無料で受講できます。オンライン版・最新の情報収集も兼ねて、是非、ご参加ください。**

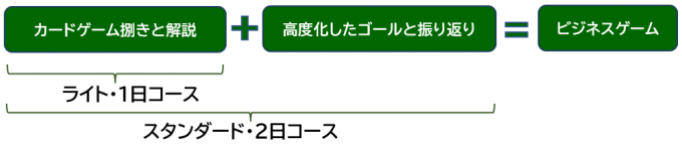


© OAK JAPAN and SDGs Business Institute　2022

リアル版カードキット（受講前に送付）　　オンライン版操作画面

◎SDGs アウトサイドイン・ビジネスゲーム
公認ファシリテーター養成講座《２コース》 の内容

①ライト　　・１日コース：カードゲームのリアル＆オンライン版の捌きを学ぶ
②スタンダード・２日コース：カードゲームの振り返りで高度なワークまでを学ぶ



１日目：（ライト＆スタンダードコース合同受講）

10:00　午前の部　チェックイン・開始
1　自己紹介（アイスブレイク）
2　SDGs アウトサイドイン・カードゲーム制作の背景
3　SDGs アウトサイドイン・カードゲームのファシリテーターができること
4　カード準備と配布（動画視聴）、ルール説明
5　デモンストレーション（動画視聴）
12:00　昼休憩

13:00　午後の部　開始
6　カードゲーム実施と振り返りの技術とポイントの学び、その意図を考える
7　自分の意識と組織のカルチャーを変える（個人の will、プレーヤーカードの意味）
8　ゲームの構造、作られ方、カードさばきの練習、カードから見えて来ること
9　アウトサイドイン・強制発想マトリックス法
10　個人や組織が身に着けているメンタルモデルをいかに更新していくか
公認ファシリテーターの皆さまに望むこと（1）、Q&A 質疑応答
ガイダンス（1）：公認ファシリテーターの皆さまへのお願い、連絡事項　他
ライトコースの方に「認定証」のお渡し
17：00／終了

２日目：（スタンダードコース受講者）

10:00　午前の部　チェックイン・開始
1　SDGs アウトサイドイン・アプローチ／生まれた詳しい経緯と ESG 年表
2　SDGs 未来年表－脱炭素を目指しての取組み《温暖化対策》
3　SDG Compass 社内導入行動指針と SDG s 事例情報サイト一覧の活用法
12:00　昼休憩

13:00　午後の部　開始
4　SDG Compass／アウトサイドイン計画の導入・浸透・経営との統合
5　SDG s の未来と振り返りのバリエーション、ゴール設定の高度化とその習得
6　SDGs 企業導入事例研究とワークショップ、10 年後の未来創出法
7　世界経済フォーラムのグレートリセットと新しいアウトサイドインを組込む
8　公認ファシリテーターの皆さまに望むこと（2）、Q&A 質疑応答
ガイダンス（2）：公認ファシリテーターの皆さまへのお願い、連絡事項　他

© OAK JAPAN and SDGs Business Institute　2022

スタンダードコースの方に「認定証」をお渡し
※「300 頁以上の生パワポ」もお渡しし、講演・ワークショップで使用可
17:00／終了

3｜ 価格及び価格体系の背景

◎価格について

「SDGs アウトサイドイン・ビジネスゲーム」を使用するためには、大きく 2 種類の費用が必要となります。

1）公認ファシリテーターになるための費用について

公認ファシリテーター養成講座を受講し、修了いただくことで**公認ファシリテーターとして《リアル版＋オンライン版》カードキットを使うことができます**。その基本資格取得費用としてイニシャル 132,000 円（税込）で提供させていただきます。

この費用は、以下の《ライト及びスタンダード》のコースに組み込まれています。

《開催コースと受講料》

『SDGs アウトサイドイン公認ファシリテーター』養成講座　２コース

充実の「リアル＆オンライン版」	主な対象	特別価格
・公認ファシリテーター養成講座 《ライト・１日コース》	個人	132,000 円／人 （税込）
・公認ファシリテーター養成講座＋高度化プログラム 《スタンダード・２日コース》	個人	198,000 円／人 （税込）
①過去に１日コースを受講された方の再受講 ※(1)：１日目のみ受講で、オンライン版も習得！ ※(2)：２日目を受講し、振り返りの高度化を習得。	卒業生 卒業生	①再受講 ※(1)：無料 ※(2)：66,000 円／人（税込）
②過去に２日コースを受講された方の再受講 ※人数枠がありますのでお問合わせください。		②再受講 無料

《想定している受講者の皆さま》

《ライト・１日コース》

・専門家（他の教育の資格を持っている方など）の皆さま
・SDGs を企業に導入したいと強く思われている方々、教育者、関係組織人の皆さま

《スタンダード　・２日コース》

・専門家（他の教育の資格を持っている方など）の皆さまで、より深く学びたい方、SDGs を企業導入したいと強く思われている方々、教育者、関係組織人の皆さま
・企業の経営企画室や CSR 推進室担当者、中堅・中小企業の経営者や担当者の皆さま

2）利用フィーについて

今後、さらに多くの公認ファシリテーターがより多くの人たちに高品質なゲーム体験の場を提供し、SDGs で示された課題を解決していくためには、ファシリテーター同士が学び合える関係づくり、数多くのゲーム体験の場の確保、ファシリテーションのクオリティの向

© OAK JAPAN and SDGs Business Institute　2022

上が大切だと考えています。このような考えに基づき、以下の通り「利用フィー」を設定しています。

◎利用フィー

・リアル版

リアル版の利用フィーとして売上金額の 20%をご請求いたします※。例えば「SDGs アウトサイドイン・カードゲーム」を使ったイベントやワークショップを有料で開催したり、研修サービスとして外部に販売（企業研修等）したりするケースがこれにあたります。利用フィーが発生する催しを行った際は、金額と内容について事務局にご報告いただきます。

※ただし、公式サイトに申請・掲載された一般向けのイベントに関しては利用フィーの支払いは（有料の参加費をいただくものであっても）不要です。本ゲームの認知・拡大のためにご活用ください。

また、自らが属する団体組織内での研修など、講師への謝礼が発生しにくい、あるいは発生させてはならない場（無料開催）では、利用フィーは発生いたしません。SDGs やアウトサイドインの考え方を理解し、拡げるツールとしてお役立てください。

※受講後の年間サポートフィーはありません。

・オンライン版

オンライン版はシステム利用料制となっており、オープン開催は 11,000 円（税込）、組織内クローズ開催は 33,000 円（税込）となります。※利用フィーはかかりません。

4 | 最後に

公認ファシリテーターや SDGs 担当者・推進者・専門家への期待は、日々高まっています。それは、企業を取り巻く経営環境が大きく変化しているからであると理解しています。

皆さまは、「SDGs アウトサイドイン・ビジネスゲーム」公認ファシリテーターとなられた場合、助言者ではなく、促進者から行動する実践者としての立ち位置になります。そして、経営者や企業セクターの方々から様々なオファーが来る可能性もありますし、マーケットインの外側にあるアウトサイドインの提唱者のお一人として当該企業の SDG s 経営に積極的に取り組んで行く姿勢が求められます。従いまして、〝振り返りまでも含めた〞深い意味でのクオリティを高めていくことが重要になります。

「SDGs アウトサイドイン・ビジネスゲーム」公認ファシリテーター講座受講を、皆さまの活動の戦略的な長期的視点で、ご検討頂ければ幸いです。

それでは皆さまのご健勝をご祈念申し上げ、お会いする日を心から楽しみにしています。

2023 年 4 月吉日

株式会社オークジャパン
SDG s アウトサイドイン研究所

© OAK JAPAN and SDGs Business Institute　2022